

**要予約 無料法律相談**  
10月22日(水)10時～11時半  
●担当/山口第一法律事務所  
内山 新吾 弁護士  
11月20日(木)10時半～12時  
●担当/山口第一法律事務所  
田中 礼司 弁護士  
●場所  
生協ふれあい会館2階「相談室」  
☎0836-34-2510

健康をつくる 平和をつくる いのち輝く社会をつくる

# 健康のひろば

●発行  **医療生活協同組合健文会**  
●発行責任者 専務理事 山村 義晴

**医療生協健文会現勢** 2025年8月31日現在

- 組合員…………… 18,771人
- 出資金額…………… 601,695,000円
- 平均出資金額…………… 32,054円
- 支部数…………… 23支部
- 登録班数…………… 161班

住所変更等ありましたら、まちづくり組合員活動支援部までご連絡ください

〒755-0005 宇部市五十目山町16-23  
TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651  
<https://www.kenbunkai-yamaguchi.jp>

**定款地域(活動する地域)・・・山口県全域**

# 健康まつり 2025

みんなおいでよ!

2025年11月16日(日) 10:00～14:00 in 宇部市恩田運動公園

約13年ぶりの開催となります。ただいま協力券を発売しております(1枚300円) 福引抽選券付きです。最寄りの事業所もしくは支部で取り扱っています。広告協賛も募集しております。ぜひ、ご協力ください。地域の人たちと集まって、楽しいまつりにしていきましょう!

## イベントコーナー

宇部太鼓・キッズダンス・健康クイズ大会  
など楽しいイベント盛りだくさん

### 赤ちゃんハイハイレース 参加募集中

参加賞・景品あります!  
ハイハイレース 先着25名  
申し込みは **10月1日から**



## キッズコーナー

- お菓子釣り
- 的当てゲーム
- キックターゲット
- ストラックアウト など

山口県PR 本部長  
**「ちよるる」が遊びにやって来る! /**



## 福引き抽選会

**特賞 / COCOLAND**  
プレミアムルーム「天」  
ペア宿泊券

**1等賞 / 2万円分商品券**

他にも景品準備しています  
協力券300円(福引抽選券付き)  
購入して抽選会に参加しよう



「健康まつり2025」メイン会場の屋根付きグラウンド

## 健康チェックコーナー

- ① 血管年齢・血圧
- ② 骨密度・ベジチェック
- ③ 握力・体力テスト
- ④ 健康相談
- ⑤ 介護・高齢者体験
- ⑥ 歯科検診



## 出店一覧

|           |          |
|-----------|----------|
| ① ポテト     | ⑥ たこ焼き   |
| ② カレー・唐揚げ | ⑦ 磯辺揚げ   |
| ③ うどん     | ⑧ 炊き込みご飯 |
| ④ 喫茶      | ⑨ 豚汁     |
| ⑤ フランクフルト |          |

【会場】めぐりな(東部市内循環線)「恩田運動公園」バス停から徒歩5分 「恩田」バス停から徒歩7分  
【住所】宇部市恩田町4丁目1 【主催】医療生活協同組合健文会 【お問合せ】TEL 0836-34-2510  
【後援】宇部市 / 山陽小野田市 / 宇部日報 / KRY/TYS / 山口県生活協同組合連合会 ※小雨天決行



**国際協同組合年**  
協同組合はよりよい世界を築きます

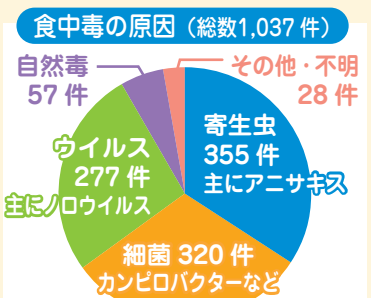
## シリーズ8 「食中毒は年中起こっています」

梅雨で高温多湿になる夏期に、食中毒が多くなるとお思いでしょうが、そのほとんどは細菌によるもので、冬期にはカキや貝類が原因とみられるノロウイルスによる食中毒が多く発生し、年間を通じて起こっています。

食中毒とは、病原微生物やその代謝産物、有毒有害な化学物質等の毒素を含む飲食物をヒトが口から取り込んだ結果として起こる疾病の総称で、その症状は下痢や嘔吐、発熱などに代表されます。食中毒はその原因によって、5つ(細菌性、ウイルス性、寄生虫、自然毒、その他)に分けられます。

細菌性食中毒は発症様式によって毒素型と感染型に分けられ、毒素型は原因物質が毒物として作用し発症するもので、黄色ブドウ球菌のエンテロトキシン、ボツリヌス菌のボツリヌス毒素があります。感染型は食品に付着・増殖した細菌が感染により体内で増殖し、病原性を持つことで発症するもので、カンピロバクターやサルモネラ菌、腸炎ビブリオがあります。ウイルス性食中毒は感染性の強いウイルスが食物を介して感染し病原性を持つもので、ノロウイルスがあります。

### 食中毒の原因(総数1,037件)



| 原因     | 件数   | 主な病原体      |
|--------|------|------------|
| 自然毒    | 57件  |            |
| ウイルス   | 277件 | 主にノロウイルス   |
| 細菌     | 320件 | カンピロバクターなど |
| 寄生虫    | 355件 | 主にアニサキス    |
| その他・不明 | 28件  |            |

厚生労働省HP 「食中毒発生状況・2024年」より

腐敗と食中毒は別の現象です。食中毒は発症する状態でも味や臭いに変わりがなく、飲食前の安全確認が困難なので、予防することが大切です。厚生労働省のHPには食中毒の予防3原則が掲載されていて、付けない(手洗い、調理器具の洗浄・消毒)、増やさない(適切な温度での保管、調理後はすみやかに食べる)、やつつける(75℃以上1分間以上の加熱)です。詳しくは「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」として動画配信されていますので、ぜひご覧ください。安全な食生活で健康に過ごしましょう。

## おもしろ食品・栄養学コーナー

### 教えて 松富先生!

山口大学名誉教授 農学博士 **松富 直利**



医療生活協同組合健文会は、2025国際協同組合年(IYC2025)に賛同しています



■経済的なご事情などで医療費のお支払いにお困りの方、「無料・低額診療事業」のご相談を受け付けています。

- 地域で新たなつながりをつくり、医療生協健文会の土台を大きくして、「安心と健康なまちづくり」のセーフティネットをひろげましょう。
- 地域での訪問対話行動を具体化し、医療・介護の情勢を知らせ、2つの署名運動を広げましょう。
- 協同組合の事業と運動の魅力を幅広く伝え、とりわけ仲間ふやしと増資については、多くの方を誘って、年間目標に向けて月間で大きな弾みをつけましょう。
- 今年は、国連が定めた2度目の『国際協同組合年』です。また13年ぶりに「健文会・健康まつり2025」を開催します。さらに、生協運動の充実にむけて「生協学校」も開催します。地域組合員と職員組合員で協同組合が大切にしている価値や使命を学び、大いに語り合しましょう。

2025 年度目標

- ◆出資金ふやし…8,000 万円
- ◆仲間ふやし目標…1,300 人



地域の中で「協同」を育み、組合員の「出資・事業所利用・運営参加」で、健文会を強く、大きくしましょう！

無差別・平等の医療、介護を実践する、地域になくってはならない健文会としての存続と、安定した経営基盤を確立するのは、私たち一人ひとりの組合員の役割でもあります、出番です。

あなたの出資金で健文会を支え、応援してください！

### 平和学校の報告



岩国の米軍基地に所属する米軍用機は沖縄・嘉手納基地をしのぎ極東最大級。山陽小野田市には自衛隊の宇宙レーダー基地ができ、8月には、政府からの山口宇部空港の「特定利用空港」（防衛力強化として自衛隊が平時から訓練などで使用できる）指定を山口県が承認する等々、戦争する体制が着々と進んでいることに多くの人が危機の念を抱いています。

戦後80年。改めて平和について考える機会として8月29日「平和学校」を開校し38人が参加。県内の平和をめぐる情勢学習、沖縄戦の記録映画鑑賞、宮古島現地視察報告、米軍岩国基地見学報告、原水禁世界大会報告等を受けて話し合いました。「この実態を多くの人に伝え平和を守ろう」との感想が多数寄せられました。（平和社保委員会・委員長 近藤 栄次郎）

### いのちを守る緊急行動

いま、全国で医療機関と介護事業所が経営難に陥っています。全国の公立病院の7割が赤字、昨年診療をストップした医療機関が850件に上るなど、地域から医療機関がなくなってしまうことが懸念されています。

地域医療を支える医療機関が無くなれば、住民の健康に生きる権利が損なわれ、「いのちの平等」も保障されなくなります。

そして、医療だけでなく、介護崩壊の危機に面しております。介護保険料は2.14倍まで上がり、事業所の倒産・廃業件数は過去最多784件、現場は人手不足が深刻化する一方です。なのに政府は2026年に負担を引き上げ、サービスを削る計画を進めています。

このような事態を回避し、だれもが安心して医療を受けられる社会に転換させるため、私たちは以下の内容の請願署名を国に提出することとしました。

- 1 医療機関が突然閉鎖し、地域住民の医療に困難が生まれることがないように、速やかに必要な対策を講じること
- 2 医療機関が健全な経営を維持できるよう、医療・福祉に対する税金の使い方の優先順位を引き上げること

今月の健康のひろばで、2つの署名と返信用封筒を折り込みます。署名を返信用封筒に入れて投函してください。

署名のご協力をよろしくお願いいたします。

**【2つの署名用紙】（署名集約：最終しめきり 2025 年 12 月末まで）**

- 地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める請願署名
- 介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める請願書名

### 山口宇部空港の「特定利用空港」指定を知事が受け入れ 寄稿①

## 弾薬等の積卸しは条例に基づき拒否すべき

山口県議会議員 藤本 一規

9月号で、「特定利用空港・港湾」とは、自衛隊などの航空機や軍船などが円滑に使える様に国が指定するものと説明しました。国は8月末に山口宇部空港など4か所を新たに指定をし、現在全国で14の空港と26の港、合計40か所が指定されています。

8月7日、県は、国に、山口宇部空港を自衛隊と海上保安庁の利用に備えた「特定利用空港」指定を受け入れると伝えました。村岡知事は、受け入れ理由の一つに「地元関係団体の理解が得られた」ことを挙げました。地元関係団体とは、山口宇部空港騒音公害対策協議会（以下、騒音協）です。幅広い市民の理解が必要です。7月22日、騒音協が県に提出した要望事項の一つは、「安全確保に万全を期すこと」です。防衛省は、県に、弾薬等の積卸しを行う場合があると説明しました。県は、爆発物などの輸送などを禁じた条例に基づき、自衛隊による弾薬等の積卸しを拒否すべきです。空港の安全確保のために「特定利用空港」の指定は、撤回すべきです。

## 10月11月『生協強化月間』スタート

### 参加と協同で開かれた健文会をともにつくる月間

### 「楽しんで、つながろう！ひろげよう！ともにつくる協同の『わ』」





介護事業所  
DIARY

リハビリデイサービス  
たんぽぽ

大盛り上がりの夏祭り WEEK

「ここ最近地域の夏祭りがなくなったよね。寂しいね…」との会話より職員一同奮起し 8/18 (月)～8/22 (金)まで夏祭り WEEK を開催しました。

外部のフラダンスやバンド生演奏にも参加してもらいました。「故郷」を生演奏で歌い、涙を流して喜ぶ利用者さんも数人いらっしゃいました。ヨーヨー釣りも1人1回ですが、「子供に戻ったみたいで楽しい」と男性利用者さんに大好評でした。おやつに一口チョコバナナは毎日、さらにもう一つポップコーン・綿菓子・かき氷から選んでもらいました。東京理科大学の実習生の方には心強いサポートをしていただき助かりました。女性利用者さんには職員が準備した浴衣を羽織ってもらい、写真をとると乙女のような笑顔を見せてくれました。意外と好評だったのが職員含む全員参加型の炭坑節、花笠音頭、ソーラン節で、職員汗だくで頑張って踊りました。



私の職場  
紹介②④

在宅介護福祉事業部  
事務局



私たち事務局は、各介護事業所が利用者様のケアに全力投球できるよう、縁の下の力持ちとして精一杯サポートしていきます！  
9事業所+事務局のワンチームで、地域貢献に努めてまいります。

理事会 だより

第2回定例理事会を8月30日(土) 14時～16時50分で開催した。

■法人運営・承認・決済事項

- ・「夏休みこども無料塾」を8/1と8/25(2回)、山口市市民活動センター「さばらんて」で初めて開催した。
- ・山口市高齢者そっと見守り活動事業協力事業者として8/1に法人登録した。
- ・生協上宇部クリニックリニューアル検討委員会報告をおこなった。次回(10/16)の検討委員会で委員会のまとめを確認し、理事会へ報告する。
- ・リハビリデイサービスげんきの営業

日の変更(土曜日営業の当面休止)について確認した。

- ・山口宇部空港の「特定利用空港」化について、健文会の独自チラシを作成し、市民や組合員に周知することを確認した。
- ・2025年度「健文会・生協強化月間方針」について承認した。

■報告事項

- ・2025年7月度の経常利益は+1,675万円の黒字(予算比+325万円、前年比+371万円)で4か月連続の黒字、今期2度目の予算超過達成となった。4か月累計は+4,184万円の黒字(予算+190万円、前年比+4,224万円)となった。
- ・宇部協立病院が2年前に作製した長生炭鉱の動画(約15分)を視聴した。

通信No.24

ここって

があって  
よかった!

ここって総会

7/10(木)岬ふれあいセンターで有償たすけあいネット「ここって」の総会があり、17名の支援員が集まりました。活動のまとめや方針を決めたあと、活動の交流を行いました。また特別企画として山本理学療法士から「腰痛&膝痛の原因と改善について」教わり、体の動かし方を体験しました。

最近新しい支援員も増え、掃除や草取りに活躍されています。参加者から「体のサポートもできて良かった」との感想も出されました。これからも「おたがいさま」を大切にしながら、利用者、支援員を増やしていきたいです。



まちづくり組合員活動支援部  
☎0836-34-2510 平日9時～17時30分

2025  
国際協同組合年 (IYC2025)

シリーズ6 学ぶ 実践する 発信する

協同組合はよりよい未来をつくります

今回は折り込み資料をお読みください。

■憲法 25条(生存権) 9条(平和主義) 13条(幸福追求権) が活きる社会の実現をめざします。



国際協同組合年  
協同組合はよりよい未来をつくります

医療生活協同組合健文会は、2025国際協同組合年(IYC2025)に賛同しています

Cooperatives Build a Better World. 2025 International Year of Cooperatives



